

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	1グループ	出席委員数	6名
日 時	平成24年7月21日（土）9時00分～11時30分		
場 所	役場第1会議室		
【協議事項】（テーマ等）			
ー主要意見ー			
・高齢者がボランティア等で貢献したい（ごみ、環境問題） ・県営団地→周囲を見ても若い人が極端に少ない。隣どうしで助け合うという提案をしても難しく「自分が助けてほしい」と言われる高齢者もいる。 ・やらなければ、と分かっている人もいるが、拒絶反応も大であった。 ・元気さにも個人差があるので、高齢者=65歳以上とくくらない方が良い。 ・政策審議会の場で議論しているだけではなく、過去2期分の提言等、結果も含めて実践できることを挙げていきたい。 ・高齢者で健康でまだやれるよと言う人の組織作りをしたい。 ・地域の基本的なあり方、地域力の欠如→地域力の強化を。 ・何か実践をしたい。 ・現在は8月の清掃があるが→年4回（3月6月8月12月）やりたい。 キャッチフレーズ「みんなで、労力を、分かち合おう」 ・みんなで作り上げている環境、「一緒にきれいにしていこう、作っていこう」と誘いあって、会える機会も増える。 ・今年度は「高齢者福祉」テーマに行っているがグループ員がどのような意見を持ってみえるのか、協議が三昧になっては、ポイントを絞り行っているかどうか。			
〔自治会ごとの公民館の利用について〕			
・現在「いきいきサロン」を実施しているところがある（地域の公民館）。北方町は公民館を持っている自治会が多い（65%くらいは持っている？）。せっきある施設を利用していったらどうか。ただし、場所によっては、あまり使用していなくて汚かったり不衛生であったりするので、その整備も必要になる。 ・何かをするから集まろうといっても集まらない。自然に集まれる場所にしたい。 ・公民館の利用、管理はどうなっているのか→自治会管理となっている。 ・公民館に老人会・子ども会、それぞれが集って会を開く事はあるが、一緒に集う場を作りたい。 ・公民館を何時～何時までオープンし、その間は自由にお茶飲んだり、将棋したりという利用方法はどうか？（お茶代等の多少の会費は出し合って）子どももあそこに行けば将棋が教えてもらえるなど、オープンな場にしたい。 ・出ていきたいけど出ていく場がない人→身近で近場な場所だったら歩いて			

でも出ていくことができる。

- ・いきいきサロン等をしていくなら、世話をする人が素人ばかりでは継続は難しい。住民の中でも専門知識を持っている人がいるのでそれを活用すべき。（指導者が必要）
- ・男性が特に地域にとけこみにくい（今まで組織にいたので）
- ・防災訓練、学校の運動会、夕涼み会→活性化していろいろな行事に参加できるように。学校や保育園、孫がいる人は参加しやすいが、ない人は参加しにくい。声を掛けてもらうだけでもうれしいもの。
- ・目的は「高齢者がいきいきと暮らせること」
- ・お互いに周りを見ていて気に留めている、そういう習慣を自然に身につける。踏み込むわけではない。
- ・きらりの使用は、使用者が偏っていたり特定の人であったりする。
- ・80歳以上の高齢者の方に声を掛け、ご飯を食べに行っている。そうやって声を掛けてもらうことがうれしいと言われる。
- ・新しいことにとりかかるとは難しいので、今あるものを膨らませる。
- ・住民が安心してきっているところがある。行政にまかせておけばいいと。
- ・行政の要支援になる前の人がデイサービスに参加すれば、要介護になるのを予防することができる。要介護になる人が減るのではないかな。
- ・要介護の時間を短く、遅らせるためのデイサービス（いきいきサロン）
- ・北方町の中ではいろいろな団体がいろいろなことをしているが、一体化していない。
- ・佃公園は老人会が清掃をしている。自分たちがここを管理しているんだと自負している。清掃活動一つについても色々な検討と配慮、地域での話し合いや協議が必要である。
- ・道路に生えている草の処理、自宅前や店舗等の前、それぞれ気づいた人がやれるといいのだけれど。
- ・国勢調査の結果、現在は北方町の人口は増えているが、今後減少することが確実。特に生産年齢人口や年少人口の減少が予想される。
- ・街づくりを長いスパンで見ていく必要がある。
- ・次回までに報告：自治会公民館の設置個所、数、サークル数、ひなたぼっこクラブの実態

一次回開催予定日ー

- ・8月25日（土）9時より

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入をお願いします。